

當官ヲ以 蝦夷開拓御用掛被 仰付候事

第六号

己巳六月六日

會社松浦武四郎

佐原志賀之介

相良 傳齋

蝦夷開拓御用掛被 仰付候事

六月十四日

廣川信義

任開拓權大主典

北海道史料目次 明治二年

政治之部

第一号 開拓長官ハ脚沙汰書

第二号 北海道出張ノ者ハ御沙汰書

第三号 開拓之儀ニ付御達

第四号 全上

第五号 管内ハ布告ノ寫

沿革之部

第一号 開拓使設置之件

第二号 函館府被廢之件

第三号 四港海關設置之件

第四号 蝦夷地改稱國郡分割ノ御布告

第五号 國後擇捉管轄ノ儀御達

- 第六号 生產方相廢度上申
第七号 商人ノ請負支配被廢ノ件
風俗之部
第一号 實地ノ概畧
治所之部
第一号 開拓使府設置ノ件
戶口之部
第一号 戶數人貟ノ總計
歲額之部
第一号 物產高ノ總計
租稅之部
第一号 船稅取立廢置ノ御達
建言之部
第一号 十三條ノ伺並指令
第二号 佐賀藩知事賞典祿返上ノ表
第三号 鹿児島藩知事蝦夷ノ管轄ヲ辭スルノ表
拓地之部
第一号 開拓有志ノ者ニ地所割渡ノ御布告
第二号 水戸藩一閑藩佐賀藩ノ土地割渡ノ御達
第三号 德島藩全上
第四号 高知藩兵部省伊達藤立郎全上
第五号 山口藩全上
第六号 金澤藩以下全上
第七号 増上寺全上
第八号 兵部省全上
第九号 莊内藩全上

開 括 使

第十号 石川源太片倉小十郎 全上

第十一号 五島銑之丞米澤藩兵部省 全上

第十二号 彦根藩全上

第十三号 弘前藩全上

第十四号 仙臺藩並伊達英橋伊達勝三郎 全上

第十五号 亘理元太郎 全上

第十六号 彦根藩全上

第十七号 仙臺藩全上

第十八号 鳥取藩全上

第十九号 佛光寺全上

第二十号 佐賀藩高知藩全上

第二十一号 増上寺全上

第二十二号 坂本平九郎等全上

第三号 管轄ノ地所區分並官員轉職之上申

第四号 國山藩知事開拓之願書

第五号 伊達英橋亘理元太郎地所支配ノ御達

第六号 李國商人ニ貸渡ノ地所取戻ノ御達

移住之部

第一号 移住人員ノ上申

第二号 伊達建千代麻呂ノ移住ノ儀御達

第三号 伊達藤五郎ノ開拓御用ノ御達

第四号 兵部省ノ故會津降伏人移住ノ儀御達

第五号 東本願寺ノ新道及教導ノ儀御達

第六号 酒田縣ノ移住ノ儀報知

軍務之部

第一号 兵部省ヨリ降伏人ノ儀上申

船艦之部

第一号 咸臨昇平二艦開拓使所管ノ御達

第二号 士官渡邊志賀横濱在留英商ト條約ノ件

漁獵之部

第一号 樽太捕鯨免許之條

外事之部

第一号 外務省官員ヨリ魯國ユンシニ心ノ書簡

第二号 外務省ヨリ外國人應接之儀未示

道路之部

第一号 東本願寺ヘ新道鑿開ノ儀御達

第二号 企前ニ付可受本使指揮旨御達

牧畜之部

第一号 膳振日高等ノ牧場本使管轄ノ御達

工業之部

第二号 各地所有之牧場本使管轄ノ御達

褒賞之部

第一号 箱館ノ職人差遣ノ件

第二号 島開拓判官叙位ノ賞典

第三号 佐賀藩知事賞典半高返納勅許ノ寫

第四号 清水谷正四位軍功ノ賞典

第五号 十八名流賊征討ノ賞典

第六号 故函館府兵以下官軍嚮導ノ賞典

第七号 島從四位ノ賞典

第八号 函館戰功賞典之儀兵部省ヨリ未翰

社寺之部

開 打 便

第一号 北海道鎮守三神へ宣命

商社之部

第一号 民部大藏二首ヨリ函館商社會所へ達書附
出張人名

第二号 通商司函館へ差遣ノ儀民部首ヨリノ書面

履歴之部

第一号 長官ノ拝命並等級ノ御達

第二号 開拓判官ノ拝命

第三号 長次兩官交代石狩へ出張

第四号 次官ノ拝命

第五号 判官ノ兼任

第六号 判官ノ拝命

第七号 全上

第八号 使部ノ拝命

第九号 少主典ノ拝命

第十号 大主典ノ拝命

第十一号 全上

第十二号 大主典ノ拝命

第十三号 判官ノ拝命

第十四号 大主典ノ拝命

第十五号 少主典ノ拝命

第十六号 判官ノ叙爵

第十七号 長官大納言ニ轉任ノ辞令

第十八号 大主典ノ拝命

第十九号 權少主典ノ拝命

第二十号 全上

第廿二号 使掌ノ拝命

全 上

第廿三号 長官ヲ拝命

長官以下慰勞ノ辭令

第廿四号 權判官ノ拝命

全 上

第廿五号 權判官ノ拝命

全 上

第廿六号 權判官箱館ノ出張

開拓御用掛並函館出張ノ辭令

第廿七号 權判官函館出張ノ辭令

函館出張ノ辭令

第廿八号 權判官石狩出張ノ辭令

函館出張ノ辭令

第廿九号 權判官石狩出張ノ辭令

函館出張ノ辭令

第卅号 權判官石狩出張ノ辭令

函館出張ノ辭令

第卅一号 權判官石狩出張ノ辭令

函館出張ノ辭令

第卅二号 權判官石狩出張ノ付外務省御用兼勤辭令

鶴舞藩公用人ノ達書

第卅三号 權判官石狩出張ノ付外務省御用兼勤辭令

鶴舞藩公用人ノ達書

第卅四号 長官以下北行ニ付物品ヲ賜ノ拝命

全 上

第卅五号 外務太丞等樺太ノ出帆

全 上

第卅六号 大主典ノ拝命

全 上

第卅七号 少主典ノ拝命

全 上

第卅八号 使部ノ拝命

全 上

第卅九号 使部ノ拝命

全 上

第四十号 使掌ノ拝命

全 上

第四十一号 判官ノ叙位

全 上

第四十二号 判官ノ叙位

全 上

第四十三号 判官ノ叙位

全 上

第四十四号 判官ノ叙位

全 上

第四十五号 判官ノ叙位

全 上

第四十六号 長官以下北海道ノ出帆

全 上

附錄

附錄

第四十七号 權判官 / 叙位

第四十八号 全 上

第四十九号 少主典 / 拝命

第五十号 權少主典 / 拝命

第五十一号 少主典 / 拝命

第五十二号 病院二等醫師 / 拝命

第五十三号 大主典 / 拝命

第五十四号 使掌 / 拝命

第五十五号 全 上

第五十六号 免職少主典 / 拝命

第五十七号 大主典 / 拝命

第五十八号 權少主典 / 拝命

第五十九号 少主典 / 拝命

第六十号 權少主典 / 拝命

第六十一号 全 上

第六十二号 少主典 / 拝命

第六十三号 權少主典 / 拝命

第六十四号 使掌 / 拝命

第六十五号 權少主典 / 拝命

第六十六号 使掌 / 拝命

第六十七号 少主典 / 拝命

第六十八号 全 上

第六十九号 全 上

第七十号 使掌 / 拝命

第七十一号 全 上

第七十二号 少主典 / 拝命

第七十三号 全 上

第七十四号 少主典 / 拝命

開拓使

第七十三号 使掌ノ拝命

第七十四号 全上

第七十五号 史生ノ拝命

第七十六号 権少主典ノ拝命

第七十七号 権判官ノ叙位

第七十八号 権判官ノ拝命

第七十九号 使掌ノ拝命

第八十号 少主典ノ拝命

第八十一号 史生ノ拝命

北海道史料 明治二年

政治

第一号

八月二十五日 却沙汰書寫

東久世開拓長官

北海道開拓ノ事皇威隆替ノ所係方今至重ノ急務ニ
候今般彼地へ出張數百里外殊方ノ寒疆ニ其事務ヲ
管督候事不容易艱難一入苦勞被思食候就テハ向
後土地墾闢人民蕃殖北門ノ鎖鑰嚴ニ樹立シ皇威
御更張ノ基ト可相成様勉勵盡力可有之旨却沙汰候
事

第二号

開拓使

開拓使

出張ノ面々へ

開拓使

今般北海道出張不容易艱難太儀ノ事ニ候其成否
皇威ノ汚隆ニ關係候間各全心戮カシテ勉励從事可
奏其功旨御沙汰候事

九月三日

第三号

開拓使

一北海道　皇國ノ北門最要衝ノ地ナリ今般開拓被
仰付候ニ付テハ深ク聖旨ヲ奉體シ撫育ノ道ヲ盡
シ教化ヲ廣メ風俗ヲ敦スヘキ事

一内地人民漸次移住ニ付土人ト協和生業蕃殖候様開
化心ヲ盡スヘキ事

一樺太ハ魯人雜居ノ地ニ付專テ禮節ヲ主トシ條理ヲ

盡シ輕卒ノ振舞曲ヲ我ニ取ルノ事アル可カラテス自
然彼ヨ少暴慢非義ヲ加ル事アルトモ一人一己ノ舉
動アリ可カラズ必全府決議ノ上是非曲直ヲ正シ彼
ノ領事官ト談判可致其上猶忍フ可カラサル儀ハ
定議ヲ經全國ノ力ヲ以テ相應スヘキ事ニ付平居小
事ヲ忍シテ大謀ヲ誤ラサル様心ヲ盡スヘキ事

一殊方新造ノ國官貞協和戮力ニ非サレバ遠大ノ業決
シテ成功スヘカラサル事ニ付上下高卑ヲ論セス海
事已ヲ推シ誠ヲ披キ以従事シ決シテ面従腹非ノ儀
アリ可カラサル事

九月四日缺

右大臣等

第四号

北海道ハ　皇國ノ北門山丹滿州ニ接候場所ニ元開

拓公方今ノ重事件ナリ依之第一土人ノ愛恤移住ノ
民ヲ撫育シ高山遐陬ノ限迄モ致開拓人烟ヲ充滿イ
夕サセ候半々ハ不相濟土人ハ不及申移住ノ者タリ
凡螺寃孤獨並老年又ハ奇特者等ハ不洩可心掛候事
一人心ヲ正シ風俗ヲ淳朴ニシ倫理ノ道懇孝ノ風盛ニ
興候様可心掛事
一土人漁獵人品等官威ヲ緩リ下直ニテ買取候儀決シ
テ不相成候
一憔悴物煎海崖干鮑御輒物是達人通出增密賣
吟味不可急事
一寒中杯々不勇ナ構御用有之候爰ニ愛持場所巡撫
等情ヲ無之様
附根毛大半演說等ヲ聞込人心ヲ惑乱為致間敷事
一請場所詰受込ノ金穀出納大主典少主典以上連印ナ
テハ不相成事
附諸願許詔ノ筋自分持場タリ凡獨断不可致事
一巡村廻浦ノ節御定ノ外土人等使役イタシ候儀不相
成候事
一附場所詰ノ者其身分ニ應シ荷物等持越候様可致
其外雜具可致船廻事
一舊幕府以來ノ弊習ニテ役員出張先ニテ勝手方等其
場所ノ請負人等相賄候處ヨリ自然御為筋ニモ不
相成儀取計候様移行其弊害不少候條今般屹度可相
改前轍ヲ踏候ニ於テハ嚴重ノ御沙汰ニ被相及候
事

一金銀鑛其外物ノ成否地味ノ性合等不辨漫リニ取掛

リ内分給分別貰リ候儀於有之ナ前條全断ノ事
一諸願書等早速大主典ヨリ判官權判官へ可差出數日
ヲ滞テセ竊ニ威福ヲ成シ候儀不相成候事
右ノ條々屹度可相守者也

九月 日缺 輔 相

第五号

管内ヘ布告ノ略

今般米價騰貴致シ管内在留無產人輩難済ノ趣實二
不相濟儀ニ候條別紙ノ通り方向相定メ各自其所ヲ
得候様可願出事

士体ヲ脱シ民籍編入ノ上ハ開墾地ヲ割渡スヘキ事
第二條

民籍編入ヲ欲セサル者ハ旧籍復帰ノ上寄留願差出
スヘキ事

第三條

士体ヲ脱シ工商ニ帰スル儀ハ勝手タルヘキ事

第四條

入籍或ハ復帰セサル者ハ今年限引拂可申事

但シ北海道中何レノ地方ト雖モ居留不相成候事

開拓使

沿革

齊明天皇ノ時後方羊蹄ヲ治所ト為シ郡領ヲ置ク爾來叛服常ナシ享德中蠣崎氏始メ其地ニ據リ子孫世々之ヲ襲ス徳川氏ノ叔世ニ當リ國家多事未タ之ヲ疆理スルニ暇アラス安政年間魯西亞ノ疆界ヲ論スルニ及ブテ函館奉行ヲ置キ之ヲ管ス明治紀元函館府ヲ設ケ明年改メテ開拓使ヲ置キ地方ヲ統治シ専ラ開拓ニ從事シ始メテ蝦夷ノ稱ヲ改メ北海道ト曰ヒ全國ヲ分ナ十一ト為シ樺太ノ稱ハ田ニ仍ル

第一号

七月八日

建開拓使